

市販のLEDランプ等装置に関するご注意

市販のLEDランプ等には、製造元が不明確であったり、ノイズ対策等が施されていないものも市場で流通されています。ノイズレベルが大きい場合は、ラジオの雑音やエラー表示、また、突然作動が停止したり、意図しない動作をする等の恐れがあり、大変危険な状態になる可能性があります。



【市販のLEDランプ等装着による不具合事例】

- LEDランプ等の装着位置が、ラジコン装置や電装装置（コントローラなど）等に近い場合は、ノイズの影響を受けやすくなります。
- LEDランプ等の電源やアースが、ラジコンやコントローラ等の制御回路と共通になる接続をした場合、回路内にノイズが入り機能障害が生じやすくなります。
- 車両エアコンやワイパー、周囲の電波塔、走行中の車両や建物の照明など、様々な環境でノイズが放射されており、複数の条件が重なった時に不具合が発生することがあります。

LEDランプ追加取付する際は、メーカーに確認の上取付を行ってください。 担当 中島

自動車

ユーザー車検（車検代行を含む）と整備事業場による車検の違いは？

それぞれの特徴は次のとおりです。最も大きな違いは車検の際に整備事業場では必ず定期点検を実施するといふ点です。

●ユーザー車検・車検代行

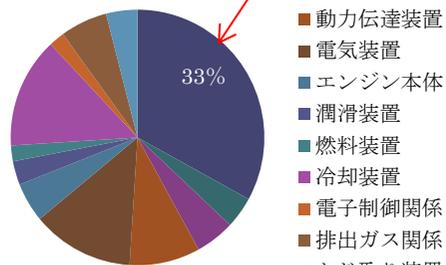
自動車ユーザー自らまたは、ユーザー車検代行者がクルマを国の検査場へ持ち込んで車検を受けることを言います。これらの場合、車検の際に点検整備を実施しないケースがほとんどであり、このような場合、右のグラフに示すようなトラブルが発生してしまう可能性が高くなります。

●整備事業場による車検

国から認証を受けた事業場として、クルマの状態を点検したうえで必要な整備を実施し、安全面、公害防止面を十分に確認したうえで車検を受けます。また、整備事業場では、定期点検を実施したクルマには整備保証をしているので、より安心してクルマを使用できます。

ユーザーにクルマの「保守管理責任」があるという観点からも、車検時には検査だけでなく、きちんと定期点検整備を実施するのは当然のことです。 担当 藤森

ユーザー車検後の不具合（装置別割合）



安全に係る重要なブレーキ装置の不具合が30パーセント以上もあります。

ご存知ですか？クボタは建機や農機だけを製造しているメーカーではありません。水道管も作っています。



Bangladesh 第2の都市、チッタゴン市。この街で、約35kmに渡って水道管（導水、送水管用ダクタイル鋳鉄管）を調達・敷設する工事を、クボタグループがチッタゴン上下水道公社から受注しました。チッタゴン市に敷設するのは、クボタが製造・供給する「ダクタイル鋳鉄管」です。意外に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、創業者・久保田権四郎が1890年に大阪で創業した当時のクボタは、鋳物メーカーでした。クボタグループは、一世紀以上に渡って培ってきた上水道整備技術のノウハウを最大限活用して今回の計画に取り組み、チッタゴン市の方々に安全な水を安定して供給し、生活環境の改善に貢献して、経済活動促進の一翼を担うことを目指しています。

担当 若林

岡山県苫田郡鏡野町「苫田ダム」

国内で初めて採用 非常用洪水吐（ラビンス型自由越流頂）

編集後記



これは越流堤をジグザグ型にして堤長を長く取ることで、同じ越流幅でも直線型より放流量を多くすることができる特徴があります。

苫田ダムの貯水池は旧奥津町に建設されたことなどから、公募により「奥津湖」と命名されています。

奥津湖のほりにある「みずの郷 奥津湖」は絶好のビューポイントです。これから新緑の季節にはもってこいですよ！ 担当 三宅



水位維持用放流設備 全国に先駆け、引っ張りラジアルゲートの採用

引張る力には強いという鋼の特性を活かした構造で、従来のゲートに比べて小さなスペースに設置することが出来ます。ダムの中に置かれたこのゲートは、先進的な技術を集めて建設された苫田ダムのシンボルとなっています。